

# さんけん新聞

発行  
NPO法人  
三段峡-太田川  
流域研究会  
(代表・本宮炎)

〒731-3813  
広島県山県郡  
安芸太田町  
柴木1734  
090-34213046

◇  
<https://sanken-hiroshimaorg/>

## 一口メモ

▼螺旋階段  
熊南峰、斎藤露翠がそれぞれ三段峡に初入りした翌年、正山文隆

西善寺住職を交えて猿飛・二段滝で三段峡を世に出そうと誓った。百年後、さんけんは多くの専門家や愛好家

と出会い、活動が加速度的に進んでいる。時は巡り、さんけんは螺旋階段を上っているかのような。

## 学習プログラムさんけんが作成

初日の事前学習のテーマは「安芸太田の自然の特徴」と「何がすごい」の特別名勝。生徒たちが当たり前だと思っている三段峡が、他にはない貴重な場所だと解説した。

二日目の現地学習は、さんけんスタッフがガイドをして、約三時間かけて正面口から女夫淵まで歩いた。紅葉や溪谷の美しさに触れ、理科で学んだコケの胞子体などを観察した。

三日目のまとめで生徒は、三段峡の「魅力マインドマップ」と「魅力紹介紙芝居プレゼンテーション」を作るワークシヨップで、三段峡の良さを発表した。「自分の町にこんなにすごい所があつて、誇りに思えた」との感想が聞かれた。

授業は地域を知る学習の一環で、さんけんが初めて学習プログラムを組み立てた。

終了後、小林久哉理事は「授業とフィールドを結びつけると、郷土への愛着がよくなり育つ」と述べ、中学校側へ来年以降の実施を提案した。

## 組織基盤強化セミナー 全日程を終了

独立行政法人・国際協力機構（JICA）の十回連続のセミナー「NGO等活動支援事業・組織基盤強化」が十一月十七日、全日程を終了した。四人の講師がNPOの運営強化について講義し、さんけんからは本宮宏美事務局長を中心に四七日、開かれた。午後一時、人が、それぞれの講座を分担して受講した。

講座を終えた本宮宏美事務局長から景勝名の解説などを聞きながら散策した。

長は「百年続く組織になるためには、足腰を鍛え強化するのが重要、来年度の活動に生かす」と抱負を述べた。

このセミナーを受講する中で、「ひろしまシン大学」の三段峡ツアーなどが企画され、他団体の受講者が三段峡を訪れるなど、社会活動に取り組む人との輪が広がった。

## 設立三周年行事 小林理事へ大賞

「オシドリを見るツアー」を教わって探鳥会が始まった。お目当てのオシドリは見られなかったが、猛禽類のクマタカやセグロセキレイなどが次々姿を見せ、五人の子供たちは図鑑を広げて確かめていた。

東広島市からの参加者は「たおやかな時間が流れて素晴らしいツアーでした」と笑顔だった。

## クマタカなど次々

「オシドリを見るツアー」を教わって探鳥会が始まった。お目当てのオシドリは見られなかったが、猛禽類のクマタカやセグロセキレイなどが次々姿を見せ、五人の子供たちは図鑑を広げて確かめていた。

東広島市からの参加者は「たおやかな時間が流れて素晴らしいツアーでした」と笑顔だった。

## 安芸太田中学の「地域を知る授業」サポート 三段峡の自然・歴史を解説

三段峡の魅力を発信するパンフレットづくりに取り組んでいる安芸太田中学校1年生の授業を11月6日、9日、21日の3回、さんけんが担当し、本宮炎理事長と小林久哉理事が三段峡の自然や歴史を説明した。



スコープで観察し、記録する子供たち

## 南峰と歩く

### ⑯ 蛇杉橋(じゃすぎばし)

## 岩屑なだれ発生 現状変更で誕生

木串の巨石群を後にし、川が左へ折れる所まで進むと蛇杉橋へ着く。一九八八年の豪雨による岩屑(がんせつ)なだれで探勝路(がんとせつ)が断され、なお崩落の危険があつたため九三年、対岸へ渡る迂回路として、南峰橋ととも架けられた。五年

を要したのは、現状変更が禁止されている三段峡に、道の新設許可がなかなか下りなかつたためらしい。

■探勝路 景観の一部

蛇杉橋の名は、かつて左岸にあつた奇形の杉に由来し、百ほど上流にある南

峰橋は熊南峰からの命名である。南峰は蛇杉橋のすぐ下流に「蛇小屋(じゃこや)淵」、南峰橋直下に「枯松(かれまづ)淵」を記している。

二つの橋の間の探勝路は、現状変更が認められた道なので、がっちりした柵が設けられている。危険な場所でも

他には高さのある柵はほとんどない。現状変更の禁止によつて、「探勝路自体が景観の一部」という南峰の美意識が息づいている。

■石積も民俗文化財

対岸から旧道の石積が見える。石を積んだだけの「カ

## 「さんけん」の歩み(2017.11~2018.10)

- 2017年11月 筒賀小と安芸太田中で学習プログラム実施
- 1月 環境省のエコツーリズム・インタープリテーション人材育成支援事業へ参加 ▽聞く会・舩見奇麗氏
- 2月 県立文書館「三段峡の歴史と自然展」を見学 ▽聞く会・堂河内福夫氏、山下幸作氏
- 3月 三段峡ゲートウェイ中期計画策定
- 4月 初の三段峡を清掃しながら歩こう会 ▽上殿小学校全校遠足三段峡ツアー ▽聞く会・斎藤更生氏
- 5月 地域商社あきおおた社員のガイド研修
- 6月 歩く会(植物観察)講師・大竹邦暁氏
- 7月 サンショウウオ観察会 講師・岡田純氏 ▽豪雨により峡内各所で崩壊・落石、探勝路不通
- 8月 小屋浦の子供たち支援ツアー ▽ゴマシジミ調査
- 9月 インタープリター養成講座 ▽沢登り講習会
- 10月 第1回あきおおたの楽しい100人 ▽インタープリテーション実践ツアー